



第15回 環境コミュニケーション大賞

# 表彰式

日時 2012年2月29日(水) 14:00~16:00

会場 主婦会館プラザエフ(東京都千代田区六番町15番地)

主催:環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム

協賛:一般社団法人サステナビリティ情報審査協会

協力:日本公認会計士協会、一般財団法人持続性推進機構

後援:朝日新聞社、社団法人日本経済団体連合会、財団法人地球環境戦略研究機構

## 1. プログラム

# 第15回環境コミュニケーション大賞 表彰式

---

開会挨拶

環境副大臣 横光 克彦

---

表彰状授与

---

テレビ環境 CM 部門 受賞作品上映

---

受賞者代表挨拶

日本興亜損害保険株式会社 取締役社長 二宮 雅也

---

審査委員長特別講演

東京大学名誉教授 山本 良一

---

閉会挨拶

---

## 目次

1. プログラム	1
2. 開催主旨	2
3. 受賞一覧	4
4. 受賞作品講評	6
5. 一次選考通過作品一覧	19
6. 審査委員	21
7. 応募団体一覧	23



## 2. 開催趣旨

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びテレビ環境 CM を表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度であり、今年で 15 回目を迎えます。

表彰部門は、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション 21 に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」、テレビ放送で放映された環境コマーシャルを対象とする「テレビ環境CM部門」の 3 部門です。

近年、環境に対する考え方、特に温暖化に関する問題意識が広まってきており、環境に配慮した行動を志向する消費者や投資家等が増えつつある中で、各事業者はより幅広い層の利害関係者に対して説明責任を果たすことが求められています。また、企業にとっては、環境問題はリスクだけでなく、いまやビジネスチャンスとして捉え、積極的に環境の中に環境の要素を取り入れ、環境と経済を一体化し収益獲得の機会を確実にしていく必要性もあります。そのような中、企業の環境経営への戦略や取り組みを分かりやすく利害関係者に伝えることの重要性も増しています。そこで今回も前回に引き続き「戦略的環境経営と情報開示」をメインテーマとして実施しました。

### ■ 表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2011年11月7日から2011年11月30日にかけて募集を行い、環境報告書部門 237 点、環境活動レポート部門 66 点、テレビ環境 CM 部門 16 点の、あわせて 319 点の応募がありました。

審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

#### [環境報告書部門]

環境報告大賞（環境大臣賞）	1 点
持続可能性報告大賞（環境大臣賞）	1 点
地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	9 点
生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	1 点
信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1 点
奨励賞	2 点
環境配慮促進法特定事業者賞	2 点

#### [環境活動レポート部門]

大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	5 点
奨励賞	2 点

#### [テレビ環境CM部門]

大賞（環境大臣賞）	1 点
優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）	2 点

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。

前回同様優秀賞のうち「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書について、特別優秀賞として表彰を行いました。

「奨励賞」については、前回に引き続きこれまでの規模の大きくない事業者、サイト単位や取り組みを始めてまもない事業者の報告書のうち工夫や努力が認められるものに加え、「大賞」「優秀賞」には選ばれなかったものの、環境経営（配慮）に意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、分かりやすい情報の開示がなされている報告書。先進的な環境取り組みや開示を勧めている事業者の報告書についても「奨励賞」として表彰することとし、受賞対象の範囲を拡大し審査を行いました。

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。「大賞」「優秀賞」に加え、取り組みを始めてまもない事業者のレポートであって、工夫や努力の認められるものについて「奨励賞」を授与しております。

テレビ環境CM部門については、個別に別途の専門家等による審査委員会を設けて審査を行い、「大賞」「優秀賞」を決定いたしました。

### 3. 受賞一覧

#### 環境報告書部門

環境報告大賞（環境大臣賞） 1点	
パナソニック株式会社	エコアイデアレポート2011（環境報告） サステナビリティレポート2011（社会性報告）

持続可能性報告大賞（環境大臣賞） 1点	
日本郵船株式会社	日本郵船グループ CSRレポート2011

地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞） 1点	
日本興亜損害保険株式会社	日本興亜保険グループ CSRレポート 2011

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞） 9点	
味の素株式会社	「味の素グループCSRレポート2011」（WEB/PDF版） 「味の素グループ環境報告書2011」（冊子版）
NECフィールディング株式会社	CSR報告書2011
大阪いずみ市民生活協同組合	CSRレポート2011
キリンホールディングス株式会社	キリングroupサステナビリティレポート2011
積水化学工業株式会社	CSRレポート2011
株式会社日本製紙グループ本社	日本製紙グループ CSR報告書2011
東日本電信電話株式会社	NTT東日本グループCSR報告書2011
富士通株式会社	2011富士通グループ社会・環境報告書
株式会社ローソン	①環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 ②マチと共に生きる取り組み報告（環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 要約版）

生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞） 1点	
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2011

信頼性報告特別優秀賞（サステナビリティ情報審査協会会長賞） 1点	
住友電気工業株式会社	SEI CSR報告書2011

奨励賞 2点	
アイカ工業株式会社	アイカグループ 社会環境報告書2011
国際石油開発帝石株式会社	CSR Report 2011

環境配慮促進法特定事業者賞 2点	
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	JAXA社会環境報告書2011
国立大学法人静岡大学	環境報告書2011

## 環境活動レポート部門

大賞（環境大臣賞） 1点	
MARUYAMA株式会社	エコアクション21 環境活動レポート 2010

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞） 5点	
株式会社九州構造設計	2010年度 環境活動レポート
学校法人新潟工科大学	環境活動レポート2010
プラマック株式会社	プラマック環境活動レポート(第7版)
宮田村役場	エコアクション21環境活動レポート 2010年度 宮田村
株式会社ユニック	夢システムへの飛躍

奨励賞 2点	
有限会社位田モータース	有限会社位田モータース 環境活動レポート
来ハトメ工業株式会社	環境活動レポート2011年度版

※環境活動レポートの受賞作品は、エコアクション21中央事務局のホームページからダウンロードできます。 [http://www.ea21.jp/list/ninsho\\_list.php](http://www.ea21.jp/list/ninsho_list.php)

## テレビ環境CM部門

大賞（環境大臣賞） 1点	
大阪ガス株式会社	たのむよ人間シリーズ 議論編・エネファーム想像してみよう編

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞） 2点	
株式会社NTTドコモ	森の木琴
株式会社資生堂	ユビエエネルギー篇

## 4. 受賞作品講評

### 環境報告書部門

#### 環境報告大賞（環境大臣賞）

パナソニック株式会社	エコアイデアレポート2011（環境報告） サステナビリティレポート2011（社会性報告）
------------	---

環境への取り組みが、ビジネスと一体化していることを強く印象付ける報告書となっている。環境と経営の「両立」ではなく、「一体化」もしくは「統合」の好事例であろう。創業100周年となる2018年に目指す姿として、エレクトロニクスNo.1の「環境革新企業」を掲げ、経営数値の指標とともにグリーン指標を同時に追求することをうたっている。報告書で特に印象深いのは、新興国、途上国、先進国のそれぞれの課題に対応して、自社技術を生かしたグリーンライフスタイルの提案を行い、新たなコミュニティの全体像を示しているページである。ビジネス展開などの企業の特徴を存分に発揮した内容となっている。2018年以降のさらに長期的な時間軸での考え方やコミットメントなどの記載が少ないが、2050年に先進国は80%以上削減を宣言しているので今後はそうした長期対策の情報の充実も期待したい。



日本郵船株式会社

日本郵船グループ CSRレポート2011

IMO（国際海事機関）によれば、国際海運全体ではCO2排出量が世界の3%を占めるという。日本郵船では、その影響力を重要課題と位置付け、船舶のCO2発生量の削減に真摯に取り組んでいる。船舶の種類ごとに環境経営指標を活用し、原単位での削減を進めるとともに、新造船の設計や既存船の運航方法の改善など、積極的に取り組みを行っている。生物多様性の取り組みとして、海運業と切り離せないバラスト水対策として処理装置を独自に開発し、バラスト水管理条約への対応を条約発効前に取り組んでいるなど、取り組みが先進的である。また、「安全の確保と環境活動」を最重要課題に定め、ページの多くを安全と環境に割いており、PDCAの継続的改善に真摯に取り組んでいる様子が読み取れる。国連グローバル・コンパクトに賛同し、社内に推進委員会を設置し、国内外グループ会社に対して周知や取り組みの推進を積極的に行っているなど、先進的な取り組みを行っている。

将来の人材確保を見据え、フィリピンに商船大学を設立するなど、先を見据えた取り組みは他に類を見ないものであろう。従業員の働きやすさなども言及し、巻末には人事データとして社員の状況、労働災害、社員支援体制、教育など、実データを経年データとして公開しているなど、情報開示の透明性が見て取れることは高く評価できる。専門用語や略語などを記載ページと同じページに注釈しており、読み手にわかりやすく作成されている。





まず、自社の温室効果ガス削減目標について、2012年度までに国内拠点だけでなく課外拠点も含めて連結ベースでカーボンニュートラル計画に取り組みを行うことをコミットメントしている。取り組みのバウンダリーは海外を含めた連結ベースに定めている点をまず評価したい。また、非製造業ながらも気候変動への予防的アプローチとして2020年目標と2050年目標を設定し、中長期的に取り組む姿勢を示している点も評価した。一般論として、金融業は製造業に比較し環境・CSR取り組みが遅れているといわれている。そうした状況の中で、金融業としても温暖化対策の大賞となりうる取り組みを示したことは大きい。

達成のための施策として設備効率化、生産性向上、非化石エネルギーへの転換進展、ビジネスモデルの転換、科学技術の確認による発電効率向上等が挙げられている。達成すべき削減量のうち、自社努力で達成できる割合と、達成如何が他社や社会の技術に依存する割合を明示されるともっとよかった。今後のレポートでは実績がこうした見込み通りに進捗しているのかについて着実に報告されることが重要である。また、取引先等、バリューチェーンで何ができるのかについても先進的にチャレンジされることを大いに期待したい。



## 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

味の素株式会社	「味の素グループCSRレポート2011」（WEB/PDF版） 「味の素グループ環境報告書2011」（冊子版）
---------	---

味の素グループのコアビジネスであるアミノ酸の製造と、関連する原料、副原料からの機能性食品、医薬品などの製造・販売の事業グループ全体での環境配慮活動について、網羅的にわかり易く記述されている。グループ理念である「地球持続性」、「食資源の確保」、「健康な生活」のもとに、グリーン・エコノミーの構築に寄与するという会社戦略テーマが理解できる。事業副生のバイオマスやバイオガスの燃料化、アミノ酸混和漁礁の開発などがわかり易く記述されている。「08-10環境中期計画」、「生物多様性保全」などの進捗情報が提供されており、グラフや配色等も適切で、読みやすいコミュニケーションツールであり、第三者意見も掲示して信頼性を高める工夫をしている。

NECフィールディング株式会社	CSR報告書2011
-----------------	------------

環境活動も含めISO26000とISO14000に準拠するよう社内目標を掲げ、積極的に取り組んでいる内容が読み取れる。中長期計画「フィールディンググループ環境経営行動計画2017/2030」を制定しているのもその一つであり、パートナー・協力会社のISO14001認証取得支援していることも評価することができる。業務の効率化と環境負荷の低減のために、生産革新活動に取り組んでおり、持続可能な社会のために自ら変わる、社会を変えようとして、持続可能性についても環境方針を改訂し中長期的な目標値を設定しており評価できる。また、生物多様性保全活動に関しても、本質を理解するためのセミナーの開催、中期環境経営計画の環境ビジネスの強化・促進を一つの柱としていること、インドネシアでの植林ツアーの実施など、大いに評価できる。紙面の見やすさへの配慮として、理解しにくい専門用語などには解説をつけ、詳細内容などについては、ホームページに誘導するなど、分かりやすい報告書となっている。

大阪いずみ市民生活協同組合	CSRレポート2011
---------------	-------------

2007年に独自の「7つの社会的責任」と「4つの当たり前」を策定し取り組みを進め、さらにISO26000を踏まえて見直し・改善するというトップの姿勢は高く評価できる。「社会的責任の通信簿」では、前年度の問題点・課題を確認しつつPDCAが分かりやすく整理されている。7つの社会的責任の一つである「地球環境を守る責任」に対応する環境経営については、明確な基本姿勢と基本方針に沿って取り組みが進められ、その成果と課題が分かりやすく明示されている。また、詳細な環境負荷についても図表を効果的に配置してコンパクトにまとめており、インプット・アウトプットも分かりやすい。環境配慮商品の普及については、環境問題別に整理されているが、前年より減少した原因分析があればもっとよかった。グリーン調達はしっかりしているが、生物多様性の視点も必要であろう。2020年度のCO2削減目標の策定は評価できるが、店舗開設によるCO2増加に対する対策が今後の重要課題の一つであろう。

自己点検チェックだけでなく、エンゲージメントとして組合員の声や内部監査に加え、外部委員による社会的責任検討委員会も開催されている。取引先とは食品安全プログラムなどにより協働して健全な協力関係維持に努力している。また、巻末の「数値データ集」において、情報セキュリティや雇用・労働などの社会面の基礎的な情報開示も進んでいる。ISO26000で強調される「人権」の記載の充実を期待したい。

**キリンホールディングス株式会社****キリングroupサステナビリティレポート2011**

マネジメントは事業の中心を「食と健康」と捉え、地球環境および社会との共生が重要なCSR経営課題と認識している。環境面では、グループ事業の上流・下流を含むバリューチェーン全体で「低炭素企業グループ・アクションプラン」を策定し、省エネ、省資源、節水などの定量的目標を定めて活動され、着実に進捗していることが理解できる。

CSR報告書として、環境報告にプラスして社会的側面、例えばアルコール関連問題、食の安全・安心、従業員の人間性・多様性尊重、地域社会との共生、サプライヤーとの協働、コンプライアンス保持など、について項目ごとにステークホルダーの関心事について包括的に記述しており、コミュニケーションツールとして優れている。

**積水化学工業株式会社****CSRレポート2011**

エコロジーとエコノミーを両立させながら持続的に成長していく「環境経営」を推進するため、環境経営長期ビジョンである「Sekisui Eco-Frontier 2030」を掲げている。それをバックキャストした5ヵ年目標である環境中期計画「環境トップランナー・SHINKA！」をグローバルで取り組んでいる点は、環境活動に対する長期的なコミットメントであり、ビジョンと取り組みの整合性がとれている。また、2010年には社外アドバイザリーボードを設置し、環境貢献製品認定制度の信頼性・透明性の向上に努めている点も優れている。詳細データに関しては別冊の資料集を作成しており、読みやすいレポートになっている。

**株式会社日本製紙グループ本社****日本製紙グループ CSR報告書2011**

東日本大震災で石巻工場が壊滅的打撃を受けたにもかかわらず、いち早く再開を宣言し地元に必要な希望を与えたことは感激的である。木を原料としたさまざまな製品を供給する日本製紙グループの国内外での森林経営や原材料調達において、サプライチェーンを通じた取り組みが記述されている点は高く評価できる。又、山林地主として国内外での生物多様性についての取り組み報告も豊富である。ISO26000の7つの中核主題を、「経営」、「環境」、「原材料調達・森林」、「お客さま」、「人権と雇用・労働」、「地域社会」の6編に網羅しており公開情報量も多い。サプライチェーンでの人権取り組みも日本企業としては先進的である。全体としてグラフや配色等も適切で、優れたコミュニケーションツールであり、第三者意見も掲示して信頼性を高める工夫がされている。

東日本電信電話株式会社	NTT東日本グループCSR報告書2011
-------------	----------------------

ウェブ詳細版は、簡潔な編集方針「つなげよう、明日へ」に基づく構成が首尾一貫してまとまりが良く、充実感がある。自社の取り組みへの自信を読者へストレートに伝えることに成功している。とくに巻頭特集「CSR現場レポート1」では、東日本大震災への対応策、復旧・復興支援、平時の訓練などを的確に記述し、災害対策が同社の本業および環境・CSR活動と一体となっていることを裏付けている。

CSRマネジメント体制の骨格と運用面がしっかりと確立しており、各評価項目としては得意・不得意分野の濃淡が多少あるものの、安定した顧客サービスのあり方へのアピールがよくなされている。温暖化対策の総量実績やSCMマネジメントのガイドラインに基づく具体的な実績等のウェブ情報へのリンクなどについての工夫の余地はあるが、総じて同社の総合力が示されている。

富士通株式会社	2011富士通グループ社会・環境報告書
---------	---------------------

全体的に情報が幅広く記載され、網羅性が高い内容となっている。中期環境ビジョン「Green Policy 2020」に基づき重点分野を定め、その達成に向けて、グリーンICTの提供による環境負荷低減活動など本業を活かした取り組みについて分かりやすく紹介している。特に、新たに重点分野となった「生物多様性の保全」においては、定量指標の開発など先進的な取り組みが優れている。さらには、経済性と環境面から設備投資の判定基準を定めた「設備投資ガイドライン」により、環境に配慮した投資に関する記述もあり、新しいトピックにも積極的に取り組んでいく姿勢がうかがえる。また、個々の活動においてグローバルでの取り組みを意識した記載が随所にみられ、今後さらなる環境活動の広がりが期待できる。

株式会社ローソン	①環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 ②マチと共に生きる取り組み報告（環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 要約版）
----------	--

持続可能な社会づくりという企業理念のもと、コンビニという流通業の業種特性（店舗、輸送、容器包装、商品ならびに調達）を反映した環境経営の目標を策定し、その取り組みや成果について、web報告書ではコンパクトに報告されている。また「マチと共に生きる取り組み報告書」と題する一般向け要約版は、分かりやすく編集されている。環境経営の理念・方針は明確であり、取り組み内容も豊富で理解容易性は高いものの、今後の取り組み課題の記述を多くされることが企業理解の促進につながるだろう。CO2排出量削減については、短期的な目標はあるが、2020年や2050年の中長期目標の設定も期待したい。生物多様性にかかわる取り組みは記載されているが、方針や目標の策定があればもっとよい。環境面の社会貢献活動も積極的に取り組まれている。

## 生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

### 積水ハウス株式会社

Sustainability Report 2011

報告書は、住宅の環境性能だけでなく「経年美化」の思想やコミュニティづくりなど、継続的に住み続けてもらう配慮について丁寧にかつコンパクトに記載している。自社の事業活動における環境負荷や目標・実績等も見やすくまとめている。生物多様性については、「大量の木材消費業者」の立場から各社に先駆けて木材調達ガイドラインを策定して、サプライヤーへの説明や調査を継続している。さらに「最大規模の造園業者」としては“5本の樹”計画を推進し、植栽域に合った樹種を植えているが、“いきもの調査”として効果を検証しているのは特筆すべきである。

## 信頼性報告特別優秀賞（サステナビリティ情報審査協会会長賞）

### 住友電気工業株式会社

SEI CSR報告書2011

環境及び社会性報告ともに、同社の取り組みがグループ経営理念及び企業行動憲章から展開され明確な方針の基で運用が図られ、また、全ての要素が過去の歴史的根拠や技術的立証を基礎として一貫して発展してきたことが伝わってくる優れた報告書である。特に、信頼性確保に関して見るべきものが多く、活動面では従来の内部監査と外部ISO審査に法令順守に関する監査を加えているほか、開示面では連結グループの全容とともに環境及び社会性それぞれに報告範囲を明示するとともに、独立第三者による保証の対象情報もチェックマークによって明確にされており、個別情報の信頼性の程度を識別できる内容となっている。独立第三者の保証は、J-SUS制度に則った客観性のあるもので、GRIアプリケーションレベルに関する保証も兼ねた先進的なものである。さらには、外部学識者の所見に対する回答や「GRIガイドライン対照表」を開示するなど、随所に誠実さを感じる同社の報告は「信頼性報告」に値するものと判断した。

## 奨励賞

### アイカ工業株式会社

アイカグループ 社会環境報告書2011

人や環境にやさしい製品づくりに取り組み、自社製品においては9割を超す商品が「環境配慮形製品」となり、本業における環境経営の高さがうかがえる。商品開発の際にライフサイクルアセスメントを活用し、生産から廃棄までの全般で環境に配慮した製品の提供に努めている。専門的な記述には注釈を付すなど一般読者でも理解を容易にさせる工夫が見られる。今後は海外の事業所における取り組みについても範囲に含めるなど、グループ全体での開示に期待したい。特に、海外ではISO26000が大いに活用されているので、自社の取り組みにも組み込むことが重要であろう。売上高1,000億円未満の企業からの環境報告は、超大企業にくらべ多くはないが、遜色なくがんばっている報告書である。



**国際石油開発帝石株式会社**

CSR Report 2011

「環境への負荷を低減しつつ、エネルギーを安定的かつ効率的に供給する」という分かりやすい事柄を社会的責任の中核に据えて、統一的に検討・実践している。一般論として、エネルギー開発は、環境破壊や人権侵害につながりかねないが、関係地域の人々とのコミュニケーションを重視し、雇用、教育はじめ様々な取り組みを行っていることは評価できる。CSR活動は広汎に及ぶが、特筆すべきは、重要課題の選択の過程自体を分かりやすく開示している点である。これにより、思いつきや行き当たりばったりで行動しているわけではないことが読者にとってもよく伝わる。また、同社が掲げる健康、安全、環境への取り組みを包括する「HSEマネジメントシステム」は緻密である。達成した結果のほか、具体的な目標設定にかかる記述の充実を期待したいが、取り組むプロセスが明確なので、大いなる活動を奨励したい。

**環境配慮促進法特定事業者賞****独立行政法人宇宙航空研究開発機構**

JAXA社会環境報告書2011

必要な情報が網羅的かつ適切に記載されており、環境活動に誠実に取り組んでいることが伝わってくる。さらに、数量データの提示を多くすることにより、比較可能性や検証可能性の面からも記載内容が充実し、説得力が増すと思われる。ISO26000を意識し社会的責任やステークホルダーとの関わりだけではなく、JAXAの存在理由にまで踏み込んだ報告書となっており、全編を通じて一貫した哲学を感じる。この哲学にもとづいて、今後どのように社会に貢献していくかについて記載が充実していくと、さらに社会におけるJAXAの位置づけが明確になるのではないかと。

**国立大学法人静岡大学**

環境報告書2011

環境活動の詳細が丁寧に記載されており、環境保全に堅実に取り組んでいることがわかる。持続可能な社会構築に向けた先進研究に関わる取り組みについての記載が充実しており、静岡大学が地域の知の拠点であることが伝わってくる。キャンパスが複数に分散している中で、『グリーンキャンパス構築指針・行動計画』としてキャンパス環境整備の詳細が別冊としてまとめられおり、環境配慮に関する設備投資について具体的に提示されていることは高く評価できる。さらに環境情報や社会関連情報の記載が充実され、ステークホルダーとのコミュニケーションの進展や関係性の強化を図る記述がされると、ますます魅力的な報告書となると考えられる。

## 環境活動レポート部門

### 大賞（環境大臣賞）

MARUYAMA株式会社

エコアクション21 環境活動レポート 2010

従業員への呼びかけを通じた省エネルギー活動、廃棄物の分別活動や、店舗の窓面への緑のカーテン作り等の事業所内活動だけでなく、環境配慮型住空間の提案事例（風通しや採光を考慮した設計による住宅の省エネルギー化）や伝統的日本建築物への耐震補強など、建築・不動産業としての取り組みも充実している。デザインの観点からも、手作り感を残しながらも淡色をベースとする色遣いや文字間隔等が洗練されており、読み手にとって非常に見やすい一冊となっている。長期間にわたって使用される家に関する商品・サービスを提供する事業であることを考慮すれば、中長期的なスパンでの環境目標を設定し、開示することが今後の課題として挙げられる。



優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

株式会社九州構造設計

2010年度 環境活動レポート

株式会社九州構造設計は、建設コンサルタント業を行っている会社であるが、太陽光発電設備などの環境機器の販売を行っており、その環境目標が経営とリンクした内容となっている点は評価できる。また、目標に対しての取り組み内容や取り組み結果の評価、次年度の取り組み目標がわかりやすく取りまとめられており、読み手を意識した環境活動レポートとなっている。加えて、各目標に対して実績をグラフ化している点も評価できる。

一方、排水量以外の削減目標については、次年度の目標値は既に達成できており、継続的改善のための目標の見直しが必要と思われる。ただ、社内での取り組みのうち、内部コミュニケーションとして、毎月環境目標の達成状況や活動計画の実施状況など従業員への周知を行っており、結果や取り組みについてコメントを求めるなど全員参加で活動している点は高く評価でき、上記についても社内で改善が進むことを期待したい。

学校法人新潟工科大学

環境活動レポート2010

図表や写真を多用し、全体的に非常に読み進めやすいレイアウトとなっており、読み手を考えた環境活動レポートとなっている。特に事業活動のマテリアルバランスが詳細に記載されており、大学の規模や様子がよくわかるように記載されている。取り組み内容についても、環境教育の推進や環境に関する研究の推進など教育機関としての取り組みや学生の参画等を積極的に実施しているとともに、これらが環境活動レポートにもわかりやすく記載されている点は評価できる。また、地域貢献活動を積極的にやっている点も評価できる。ただ、環境活動レポートの構成については、取り組み状況とその評価を同じ箇所に記載する等、よりわかりやすいレポートとするための工夫を期待したい。

プラマック株式会社

プラマック環境活動レポート(第7版)

環境目標の重要度を設定し、改善計画を詳細に作成、月次の進捗管理、達成度評価を明確に行っている。改善活動の紹介は、最も多くのページを使い、顔写真付きで推進責任者が内容を図・写真で具体的に説明しており、ひとりひとりが責任を持って活動していることが伝わる。表紙に従業員の顔社員を使用し、社内の意識を高めることにも役立たせている。二酸化炭素、電気、産業廃棄物は過去5年間の測定値を掲載し、改善を継続して行い、効果を出していることがわかる。経営の基本的考え方「モノを大切にす、モノの生命を全うせよ」と、環境改善を一体化させていることが示されたレポートである。一部図表が小さく、読みにくい点があり、細部により配慮したものにすると完成度が高まる。

**宮田村役場****エコアクション21環境活動レポート 2010年度 宮田村**

村の概要だけでなく、大気・水質・気候変動等に関するデータを掲載し、環境白書的な要素も盛り込んだ環境活動レポートとなっている。また、活動においても環境目標を「宮田村役場地球温暖化防止実行計画」や「宮田村環境基本計画」と連動した目標設定を行っており、自治体業務が多様な中で各目標に対しての活動内容がわかりやすく記載されている。地産・地消とエコファーマー認定や、保育園でのエコレンジャー活動など、地域や住民を巻き込んだ活動やその評価なども優れている。

ただ、環境目標及び活動計画の取り組み実績とその評価において、各目標の実績値や評価、評価基準は明記されているものの、目標値が記載されていないため各目標の評価理由が明確になっておらず、評価コメントが概略的であるため、より踏み込んだ記載や評価を期待したい。

**株式会社ユニック****夢システムへの飛躍**

従業員23名と小規模事業所であるが、代表者以下、社員が熱心に環境問題に取り組んでいることがうかがえるレポートである。特に「エネルギー別CO2排出量の期別推移」や「環境への取り組み自己チェックの結果」のレーダチャートなど、活動内容を独自の図表を用いて、読者に分かりやすく伝えようとしている姿勢は評価できる。また、環境マネジメントシステムの中核として内部監査を位置付け、その質疑の内容や所見について詳細に説明されている点、省エネ改善制度の実施において社員提案を实名入りで紹介している点など、情報公開を徹底して内外のステークホルダーが会社の活動内容や考え方、実情等について十分に理解できるよう工夫されている。

**奨励賞****有限会社位田モータース****有限会社位田モータース 環境活動レポート**

省エネルギーや廃棄物の発生抑制等の直接的な環境負荷の低減活動に加えて、エンジン洗浄等を中心とする「エコ整備」などの自動車整備業の本業を通じた環境活動も実施されている。また、これらに加えて、CER（炭酸ガス削減クレジット）を活用したカーボンオフセットの実施は、従業員数10名の零細企業であることを考慮すれば、高く評価されるべきものとする。

一方、デザインの観点からは、限られたスペースに文字が高密度で記載されているために読みやすいとは言えない。また、細かく色分けされている巻末の補足資料のグラフ集も、情報過多で逆に読み取るべきポイントがわかりにくくなっており、情報量の適正化という観点から見直す余地があると思われる。

従業員40人強の規模の金属製品製造業として、事業内容に即して、整合のとれた環境方針・環境目標・環境活動計画を展開し、項目ごとに担当者を明確にして環境活動を推進し評価していることがよく読み取れる。法規制等の遵守状況のチェック結果は遵法評価の根拠が明確に記載されている点、緊急事態の想定・対応策についても具体的に記載されている点、項目ごとの取組評価と次年度以降の課題の詳細な記載などは高く評価できる。

一方、日常のマネジメントに用いている文書記録類がそのまま記載されている場合も多く、エビデンス性が高い反面、読みやすさ・わかりやすさに一層の配慮・工夫が必要と思われる。



## テレビ環境CM部門

### 大賞（環境大臣賞）

大阪ガス株式会社	たのむよ人間シリーズ 議論編・エネファーム想像してみよう編
----------	-------------------------------

森の中で動物たちが上戸彩と対話する。地球を壊す、人間は悪だ、とロ々に言う仲間を制してゴリラの長老が「人間は実に不思議な生き物だ、人間は人間を殺す、一方、他人のために命を捨てる」と言い、地球を壊すのも人間だが、治せるのも人間、という結論に導き「人間に猶予を与える」と言う。「猶予？」と聞き返す上戸の頭をクマが優しくなでる。森の光景に「うちのエネルギーをハイブリッドへ」、大阪ガスというタイトル。自然側を代表する人間対人間代表としての上戸彩と言う設定もいいが、動物たちの言葉も実に含蓄が深い。以上は「宣言編」についてだが、太陽光発電をガスと組み合わせるとエコロジーでエコノミーと言う「太陽光編」、エネルギーは遠くでつくるより近くでつくった方がいいと言う「分散型発電編」まで一貫した表現で効果を上げている。

### 優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

株式会社NTTドコモ	森の木琴
------------	------

森の間伐材を、ケータイに活用するという環境問題の解決を目的としている。CMは、間伐材で作った長い長い木琴の上を、木の玉が、コロコロと音を立てながら、延々ところげて行って、ついに木製のケータイの並ぶところで止まるという仕掛け。

CMによる説明の部分が少なく、木琴の上をころがっていくようすに見とれてしまうというのが、大震災以来の重苦しい気分を軽やかにしてくれる。カンヌライオンズでも評価を得ていることも喜ばしい。

株式会社資生堂	ユビエネルギー篇
---------	----------

資生堂は1989年にフロンガス全廃を宣言し、ミストタイプの製品を、フロンガスを使ったスプレー缶から「ユビエネルギー」を活用する容器へと転換。スプレー缶と違い詰め替えができるので廃棄物削減にもつながる。だが、ほんのひと昔前、こんなことは当たり前だった。今の時代、「ユビ」に限らず「人力」エネルギーの活用をもっと考えてもよいのではないか。「人力エネルギー」は地球にやさしいばかりでなく、（日本は減少傾向にあるが）地球上で唯一、増え続けているエネルギーでもあるのだから。

このCMは環境情報の内容に加え、映像の美しさも評価された。どうやら、資生堂の「ミーム（美と知の文化遺伝子）」は、環境CMにも受け継がれているようだ。

## 5. 一次選考通過作品一覧

### 環境報告書部門

アイカ工業(株)	アイカグループ 社会環境報告書2011
旭硝子(株)	AGCグループCSRレポート2011
味の素(株)	「味の素グループCSRレポート2011」(WEB/PDF版) 「味の素グループ環境報告書2011」(冊子版)
(独)宇宙航空研究開発機構	JAXA社会環境報告書2011
NECフィールディング(株)	CSR報告書2011
大阪いずみ市民生活協同組合	CSRレポート2011
大阪ガス(株)	大阪ガスグループCSRレポート2011
花王(株)	花王サステナビリティレポート2011
キリンホールディングス(株)	キリングroupサステナビリティレポート2011
国際石油開発帝石(株)	CSR Report 2011
埼玉日本電気(株)	環境アニュアルレポート2011
サラヤ(株)	SARAYA環境レポート2011
サントリーホールディングス(株)	サントリーグループ CSRレポート2011
国立大学法人 静岡大学	環境報告書2011
清水建設(株)	シミズCSR報告書 第17号 2011
シャープ(株)三重工場	シャープ株式会社三重工場 環境・社会貢献活動情報誌
新日本製鐵(株)	新日本製鐵 環境・社会報告書2011—Sustainability Report 2011
住友金属鉱山(株)	CSR報告書2011
住友電気工業(株)	SEI CSR報告書2011
積水化学工業(株)	CSRレポート2011
積水ハウス(株)	Sustainability Report 2011
太平洋セメント(株)	CSRレポート2011
(株)大栄	CSR報告書2011
武田薬品工業(株)	Annual Report 2011
帝人(株)	2011年帝人グループCSR報告書
東京都水道局	東京都水道局環境報告書2011/ 東京都水道局環境報告書2011概要版
(株)東芝	東芝グループ環境レポート2011
国立大学法人 東北大学	東北大学環境報告書2011

DOWAホールディングス(株)	DOWA CSR報告書 2011
豊田ケミカルエンジニアリング(株)	環境報告書2011
成田国際空港(株)	「成田国際空港環境報告書2010」(報告書) 「WHAT IS ECOAIRPORT?」(ダイジェスト版)
西日本高速道路(株)	NEXCO西日本グループ「コミュニケーションレポート2011」
日本興亜損害保険(株)	日本興亜保険グループ CSRレポート 2011
(株)日本製紙グループ本社	日本製紙グループ CSR報告書2011
日本郵船(株)	日本郵船グループ CSRレポート2011
パナソニック(株)	エコアイディアレポート2011(環境報告)、 サステナビリティレポート2011(社会性報告)
富士通(株)	2011富士通グループ社会・環境報告書
東日本電信電話(株)	NTT東日本グループCSR報告書2011
前田建設工業(株)	CSR報告書2011 MAEDAの想い
マツダ(株)	マツダサステナビリティレポート2011
三重県	環境報告書2011ー未来の笑顔のために、“いま”私たちができることー
国立大学法人 三重大学	世界一の「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 三重大学環境報告書2011
(株)ローソン	①環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 ②マチと共に生きる取り組み報告(環境保全・社会貢献活動への取り組み報告2011 要約版)

## 環境活動レポート部門

(有)位田モータース	有限会社位田モータース 環境活動レポート
一宮生活協同組合	環境活動レポート 子どもたちの未来のために/2010年度報告
九州構造設計	2010年度 環境活動レポート
滋賀シミズ精工(株)	環境活動レポート 2011年度版
東洋冷蔵(株)	環境活動レポート2011年度版
新潟工科大学	環境活動レポート2010
プラマック(株)	プラマック環境活動レポート(第7版)
MARUYAMA(株)	エコアクション21 環境活動レポート 2010
宮田村役場	エコアクション21環境活動レポート 2010年度 宮田村
(株)ユニック	夢システムへの飛躍
来ハトメ工業(株)	環境活動レポート2011年度版
菱日エンジニアリング(株)	RE・ECOLレポート2011

※テレビ環境CM部門は、一次選考なし

## 6. 審査委員

(審査委員長・座長除く 50 音順、敬称略)

### 審査委員

#### ■ 環境報告書・環境活動レポート部門

- 山本 良一 東京大学名誉教授 【審査委員長】
- 市村 清 日本公認会計士協会 常務理事
- 後藤 敏彦 環境監査研究会 代表幹事
- 佐藤 泉 弁護士
- 正田 寛 環境省総合環境政策局 環境経済課長
- 寺田 良二 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長
- 藤村コノエ NPO法人 環境文明21 共同代表
- 森下 研 一般財団法人持続性推進機構 専務理事
- 八木 裕之 横浜国立大学経営学部 教授

#### ■ テレビ環境CM部門

- 山本 良一 東京大学名誉 教授 【審査委員長】
- 大橋 照枝 東北大学大学院環境科学研究科 特別講師
- 佐野 寛 日本デザイン機構理事／有限会社スタジオ・エス代表取締役社長
- 正田 寛 環境省総合環境政策局 環境経済課長
- 高岡 美佳 立教大学経営学部 教授
- 中原 秀樹 東京都市大学環境情報学部教授／グリーン購入ネットワーク会長
- 安川 良介 環境カウンセラー

## ワーキンググループ委員

### ■ 環境報告書部門

猪刈 正利	株式会社インターリスク総研 コンサルティング第一部 環境グループマネージャー・主席コンサルタント
岩佐 允勝	グリーン企画社 代表
大石美奈子	(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会 副委員長
奥村 剛史	有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス マネージャー
春日 秀文	春日法律事務所 弁護士
川村 雅彦	株式会社ニッセイ基礎研究所 保険研究部門 上席主任研究員
阪野 朋子	NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局
坂本 茂實	坂本技術士事務所 代表
佐藤 孝治	環境省 総合環境政策局環境経済課
品部 友美	KPMG あずさサステナビリティ株式会社
鶴田 佳史	大東文化大学 環境創造学部 専任講師
中山 育美	財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課
早川 直孝	財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査部 調査主任
春永 美恵	株式会社あらたサステナビリティ認証機構 主任審査員/CEAR 環境審査員
藤井真由美	株式会社新日本サステナビリティ研究所 シニア
三樹 尚子	ミキオフィス 代表
葎嶋 真理	オフィスむぐらじま SRIアナリスト
村上 智美	みずほ情報総研株式会社 環境・資源エネルギー部 環境経営チーム チーフコンサルタント
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事 【座長 (コーディネーター)】

### ■ 環境活動レポート部門

上田 充宏	エコアクション21 審査人
黒柳 要次	エコアクション21 参与、エコアクション21 審査人
笹尾 英弥	エコアクション21 参与、エコアクション21 審査人認定委員、エコアクション21 審査人
田中 充	エコアクション21 参与、エコアクション21 運営委員・審査人認定委員・判定委員
西原 弘	エコアクション21 審査人
森下 研	エコアクション21 中央事務局 事務局長



## 7. 応募団体一覧

### 環境報告書部門

アースサポート(株)	生活協同組合コープながの
(株)IHI	古河機械金属(株)
アイカ工業(株)	国際石油開発帝石(株)
愛知製鋼(株)	コクヨ(株)
旭硝子(株)	(株)小松製作所
(株)朝日ラバー	埼玉日本電気(株)
(株)アシックス	(株)札幌ドーム
味の素(株)	サッポロホールディングス(株)
(株)アドバンテスト	サラヤ(株)
荒川化学工業(株)	三愛石油(株)
飯野海運(株)	三機工業(株)
イオンモール(株)	サントリーホールディングス(株)
イオン(株)	サンメッセ(株)
伊藤忠商事(株)	三洋化成工業
(株)イトーキ	JFEホールディングス(株)
(株)イムラ封筒	(株)滋賀銀行
(独)宇宙航空研究開発機構	国立大学法人 静岡大学
エーザイ(株)	(株)島津製作所
エス・エヌ・ケー・テクノ(株)	清水建設(株)
SGホールディングス(株)	シャープ(株)奈良事業所
NECアクセステクノカ(株)	シャープ(株)電子デバイス事業本部 福山事業所
NECフィールドینگ(株)	シャープ(株)天理総合開発センター
NTTグループ(日本電信電話(株))	シャープ(株)三重工場
NTTコミュニケーションズ(株)	シャープ(株)亀山工場
(株)NTTデータ	シャープ(株)葛城事業所
(株)NTTドコモ	シャープ(株)AVシステム事業本部
大学共同利用機関法人高 エネルギー加速器研究機構	シャープ(株)
国立大学法人 愛媛大学	昭和電線ホールディングス(株)
大阪いずみ市民生活協同組合	昭和シェル石油(株)
大阪ガス(株)	(株)商船三井
(株)大林組	新日本製鐵(株)
(株)岡村製作所	信越ポリマー(株)
オリックス(株)	信越化学工業(株)
(独)海洋研究開発機構	杉山メディアサポート(株)
花王(株)	住友林業(株)
カシオ計算機(株)	住友電気工業(株)
(株)学研ホールディングス	住友金属工業(株)
川崎重工業(株)	住江織物(株)
関西国際空港(株)	住友金属鉱山(株)
キヤノン(株)	住友化学(株)
京セラ(株)	住友ゴム工業(株)
学校法人 京都精華大学	セイコーインスツル(株)
京都生活協同組合	セガサミーホールディングス(株)
麒麟ビール(株)	積水化学工業(株)
麒麟ホールディングス(株)	積水化成成品工業(株)
(株)クボタ	積水ハウス(株)
国立大学法人 群馬大学	セコム(株)
京王電鉄(株)	(株)セブン&アイ・ホールディングス
KDDI(株)	総合警備保障(株)
(株)神戸製鋼所	ソニー(株)

(株)損害保険ジャパン

第一三共(株)

(株)大栄

大栄環境グループ

(株)ダイエー

ダイキン工業(株)

(株)大協

大成建設(株)

大日本印刷(株)

大日本スクリーン製造(株)

(株)ダイフク

太平洋セメント(株)

太陽生命保険(株)

大和ハウス工業(株)

武田薬品工業(株)

(株)竹中工務店

田辺三菱製薬(株)

(株)タムロン

中央化学(株)

中国電力(株)

中部国際空港(株)およびグループ会社

中部電力(株)

(株)ツムラ

帝人(株)

(株)T&Dホールディングス

TDK(株)

電源開発(株)

(株)デンソー

(株)東芝

(株)東芝セミコンダクター&ストレージ社

(株)東芝横浜事業所

DOWAホールディングス(株)

TOTO(株)

東京エレクトロン(株)

東京応化工業(株)

東京ガス(株)

東京急行電鉄(株)

国立大学法人 東京工業大学

東京都水道局

東京地下鉄(株)

東邦ガス(株)

東邦ホールディングス(株)

国立大学法人 東北大学

東洋製罐(株)

東レ株式会社

戸田建設(株)

戸田工業(株)大竹事業所

凸版印刷(株)

豊田ケミカルエンジニアリング(株)

トヨタ自動車(株)本社

トヨタ自動車(株)東京本社

国立大学法人 名古屋大学

市民生活協同組合 ならコープ

成田国際空港(株)

南海電気鉄道(株)

西日本高速道路(株)

西日本旅客鉄道(株)

(独)日本原子力研究開発機構

日本興亜損害保険(株)

日本合成化学工業(株)

日本コカ・コーラ(株)

日本信号(株)

日本精工(株)

(株)日本製紙グループ本社

日本特殊陶業(株)

日本発条(株)

日本ハム(株)

日本郵船(株)

パイオニア(株)

ハウス食品(株)

パナソニック(株)

パナホーム(株)

(株)バンダイナムコホールディングス

東日本電信電話(株)

東日本旅客鉄道(株)

(株)日立製作所

国立大学法人 弘前大学

広島ガス(株)

(株)ファミリーマート

藤倉化成(株)

富士重工業(株)

富士ゼロックス(株)

(株)フジタ

富士通(株)

富士電機(株)

富士フイルム(株)富士宮工場

富士フイルムホールディングス(株)

芙蓉総合リース(株)

ブラザー工業(株)

(株)ブリヂストン

プリマハム(株)

(株)フレスタ

(株)平和堂

(株)ベネッセホールディングス

法政大学

北陸電力(株)

(株)堀場製作所

本田技研工業(株)

前田建設工業(株)

マツダ(株)

マックスバリュ中部(株)

丸紅(株)

(株)マンダム

三重県

国立大学法人 三重大学

三国コカコーラボトリング(株)

ミサワホーム(株)

三井ホーム(株)

三菱化学(株)

三菱化学(株)水島事業所

三菱自動車工業(株)

三菱重工業(株)

三菱樹脂(株)

三菱樹脂(株)平塚工場

(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ

ミネベア(株)

(株)名鉄百貨店

森永乳業(株)

(株)ヤクルト本社

矢崎総業(株)

(株)山武

ヤマハ(株)

雪印メグミルク(株)

横浜ゴム(株)

ライオン(株)

(株)リヴァックス

(株)リコー

(株)リコー御殿場事業所

(株)リコー電子デバイスカンパニー

リコーリース(株)

リコーロジスティクス(株)

(株)リそなホールディングス

リゾートトラスト(株)

リマテック(株)

ルネサス山形セミコンダクタ(株)

レンゴー(株)

(株)ローソン

## 環境活動レポート部門

磯部工業(株)

(有)位田モータース

一宮生活協同組合

伊藤鉄工(株)

(株)今住鉄工

SGモータース(株)

大阪装置建設(株)

大橋法律事務所

(有)カンドリ工業

九州林産(株)

九州構造設計

共和アスコン(株)

久保田鑄工(株)

群馬合金(株)

(株)KDP

(株)坂口製作所和歌山工場

(有)坂井商店

サッポロビール(株)北海道本部

(株)サンフィールド

三美鍍金工業(株)

(株)GE

滋賀シミズ精工(株)

(株)シミズオクト

(株)シュガーアンドスパイス

(株)親和テクノ

ソーダニッカ(株)

第一化成(株)

大同情報技術(株)東京本社

(株)高橋産商

高石工業(株)

(株)高勝の家

東京大森ロータリークラブ

東洋冷蔵(株)

新潟工科大学

日本オープンウェブシステムズ(株)

日本化学機械製造(株)

(株)仁張工作所

野原建設(株)

(株)野村商店

榛原工機(株)

花昭建設(株)

(株)ハマツール

(株)浜興業

(株)藤生製作所

(株)フライトワン

プラマック(株)

(株)プリプレス・センター

(株)フレスタ

ベジプロフーズ(株)

(株)北陽商会

前出産業(株)

松江八東清掃協同組合

マツシロ(株)

(株)マルイ

宮田村役場

未来工業(株)熊本事業所

MARUYAMA(株)

友新精機(株)

(株)山田製作所

山眞建設(有)

(株)ユーベック

(株)ユニック

来ハトメ工業(株)

リトルスタジオインク(株)

菱日エンジニアリング(株)

林業笠原造園(株)

## テレビ環境CM部門

(株)NTTドコモ

大阪ガス(株)

(株)クボタ

コマツ((株)小松製作所)

(株)資生堂

シャープ(株)

大和ハウス工業(株)

(株)東芝

新潟工科大学

(株)日立製作所

マツダ(株)

横浜ゴム(株)







**第15回 環境コミュニケーション大賞事務局**

**株式会社ダイナックス都市環境研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル3階

TEL:03-3580-8221 FAX:03-3580-8265